

電話リレーサービス

画像提供:総務大臣指定 電話リレーサービス提供機関 一般財団法人日本財団電話リレーサービス



手話で、文字で、
電話を通訊

■福祉事務所 ☎57-8509



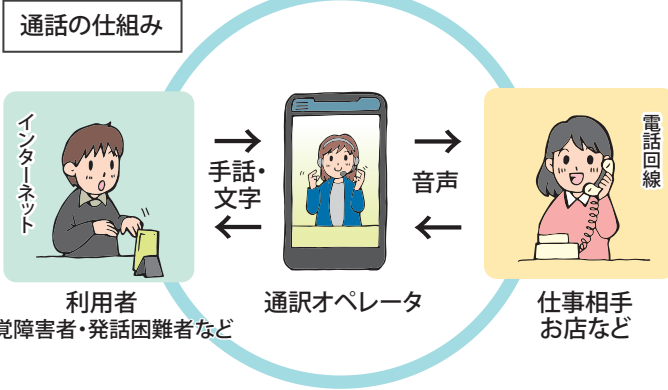
ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

電話リレーサービスとは

聴覚や発話に困難がある方と、きこえる方の会話で、通訳オペレータが「手話・文字」と「音声」を通訊することにより、電話ですぐに双方向につながる事ができる公共サービスです。

24時間365日利用できるので、緊急の場合などいつでも連絡を取り合うことができます。

※事前に利用者がアプリをダウンロードし、専用の電話番号を取得する必要があります



詳しくは右のQRをご覧ください



どのような場面で使われているの？

<p>仕事</p> <p>仕事相手との業務連絡や予定の調整などを速やかに進めることができます</p>	<p>病院</p> <p>病院の予約をしたり、受診前に症状を正確に伝えたりすることができます</p>	<p>緊急通報</p> <p>110 (警察)、119 (消防)、118 (海上保安庁) へ発信することができます</p>	<p>その他</p> <p>お店の予約や家族、友人との電話に利用することができます</p>
---	---	--	--

きこえる方へ

きこえる方が使う場合の利用方法

電話リレーサービスを介して、きこえない方などから電話があった際には、通話を拒否することがないようにご理解とご協力をお願いします。

電話リレーサービスからの電話をとると、通訳オペレータから「こちらは電話リレーサービスです。耳のきこえない方などからの電話を通訊しております。双方のお話を全て通訊いたします。よろしくをお願いします」という案内が最初にあります。

通訳オペレータを介しての通話となるため、通常の電話と比べると時間がかかります。また、通話の際はゆっくりとお話してください。

障害がある方への理解と社会参加の促進にご協力をお願いします



▲第23回夏季デフリンピック競技大会 サムスン2017

きこえなくても目で見える工夫

競技のルールはオリンピックとほとんど同じですが、スタートの合図や試合中の審判員の声などはきこえないので、フラッシュランプを使用し光で合図を出したり旗を使用したりと目で見える工夫をしています。



▲光るランプでスタートを知らせます



▲サッカー競技では旗を使用

デフスポーツを応援しよう！
デフサポーター制度について

デフリンピックの認知度が低くサポーターが少ないため、大会に出たくても出られない選手が多くいます。選手や子どもたちの可能性を広げ、デフスポーツ発展を目指し、きこえる方ときこえない、きこえにくい方が一緒に「共生社会」の実現に向けて取り組んでいます。サポーター制度に興味がある方は右のQRからご覧ください。



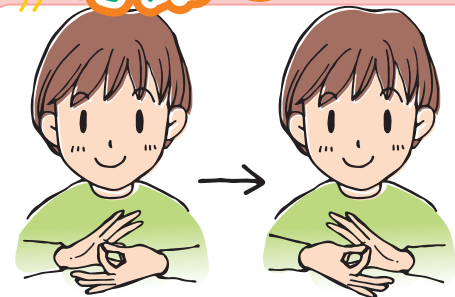
▲詳細はこちら

デフスポーツ手話 第4回

香南市は令和6年4月に手話言語条例を制定しました。

日常生活で使える手話を紹介しています。ぜひ覚えて使ってみましょう！今回はスポーツに関する表現です。

動画でもチェック！▶▶▶



両手2指で丸をつくり、上下反対にして丸を重ね合わせるよ

デフリンピック



走っている姿を表現しているよ
両手を開いて走るしぐさをするよ

スポーツ



旗を振ってる姿を表現しているよ
旗を持って左右に振るしぐさをするよ

応援

お問い合わせ:福祉事務所 ☎:57-8509 メール:fukushi@city.kochi-konan.lg.jp